

- (3)教育資源の有効活用
- (4)共同研究の実施
- (5)学生及び教職員の交流
- (6)効率的な大学運営
- (7)その他上記の目的を達するために三者が合意した事項

本学及び山梨県立大は、地理的に近接し、開設する学問分野に補完的なものが多く、適用される法人制度において共通の基盤を有していることから、国において検討が進められている大学等連携推進法人(仮称)制度の活用等を含めた連携について、検討に取り組むものとします。

県は、両大学による連携に係る趣旨・目的を理解し、両大が行う取り組み等に協力するものとします。

◆「山梨アカデミー」で、本学工学部の寺田英嗣教授、生命環境学部の島弘幸准教授が受賞

県民に科学技術の魅力を伝える「山梨科学アカデミー」の交流大会が5月27日(月)に本学大村記念学術館大村記念ホールで開かれ、ロボット工学や農業の分野で優れた功績を残した研究者などが表彰されました。

「山梨アカデミー」は、科学技術の発展につなげようと、韮崎市出身でノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智山梨大学特別荣誉博士が中心となって設立し、交流大会を年2回に開いています。今大会には、県内外の研究者や技術者などがおおよそ80人が出席し、優れた功績を残した研究者などが表彰されました。

このうち著しい実績をあげた研究者に贈られる「アカデミー賞」は、ロボットを制御する方法を研究する中で人の歩行を助ける器械などを開発し、医療や介護の分野に貢献したとして、本学工学部の寺田英嗣教授に贈られました。

また、県内の若手研究者に贈られる「奨励賞」は、竹が軽さと丈夫さの両面で優れていることを科学的に解明した本学生命環境学部の島弘幸准教授と、さくらんぼや桃の人工授粉に使う花粉の発芽率を高める方法を開発した県農政部の萩原栄揮主査が受賞しました。

◆「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」FCyFINE シンポジウム開催

5月22日(水)に文部科学省地域イノベーションエコシステム形成プログラム FCyFINE シンポジウム 2019 がベルクラシック甲府で開催されました。当日は約 120 名が集まり、県内で水素社会に向けたやまなし燃料電池バレーの創成が期待されています。世界の水素燃料電池の動向、FCyFINE の取り組みの講演、また、地域発事業化の取り組み例として、Mn 系 Li 電池開発について東北大学の伊藤事業 PD からの講演、医療機器事業にチャレンジしている山陽精工(株)の白川社長の講演と、他地域の地域イノベーション事業の取り組みや新事業チャレンジについて知ることができました。

FCyFINE 事業の今後は、実際に製品への実装に取り組んでいくことになりますので、クラブ会員様におかれましても、ご参加をお勧めします。

また、シンポジウム後の交流会では、県や大学そして企業それぞれの立場で皆さんが大いに議論しあって盛り上がりを見せておりました。

最後になりますが、毎月燃料電池ナノ材料研究センターの見学会を実施しております。やまなし燃料電池バレーの創成に少しでも関心のある会員企業様がおられましたら是非ご参加ください。



■02 助成事業および公募情報 (6 件)

◆【JST】2019 年度 A-STEP「機能フェーズ 試験研究タイプ第 2 回、実証研究タイプ」の公募開始

令 01-1 号でもお話させていただきました、JST(科学技術振興機構)の A-STEP(研究成果最適展開支援プログラム)が 5 月 23 日より機能検証フェーズの試験研究(～300 万円/1 年)第 2 回目と実証研究(～1000 万円/1 年)の公募が開始されました。

試験研究は企業ニーズの解決に大学シーズを使って解決するもので、実証研究は企業との本格的な共同研究に進むために必要な実証的な研究を支援する内容になります。試験研究、実証研究ともそれぞれ大学等の研究者が課題を提案しますが、企業のニーズ解決を目的としておりますの

で、クラブ会員企業様におかれましては、自社商品の技術課題等について大学と解決していきたいという内容を、この A-STEP を活用することで進めることができます。場合に寄りますと、大学研究者よりご協力の声掛けがあるかも知れませんが、その時はよろしくお願いいたします。可能性の確認や課題解決に於いて A-STEP で連携する研究者をお探しでしたら、6 月初旬位までに遠慮なく事務局までご一報ください。大学と一緒に解決していきましょう。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

◆平成 30 年度補正予算・小規模事業者持続化補助金の公募の開始

平成 30 年度補正予算・小規模事業者持続化補助金の募集を開始いたしました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/info/zizokuka.html>

◆平成 31 年度「取引力強化推進事業」の応募

中小企業・小規模事業者が連携し、共同事業の活性化や受注促進等取引力の強化促進を図るために行う、先進的又は波及効果・横展開が期待できる事業に対して支援するものです。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.chuokaiyamanashi.or.jp/%e3%80%8c%e5%8f%96%e5%bc%95%e5%8a%9b%e5%bc%b7%e5%8c%96%e6%8e%a8%e9%80%b2%e4%ba%8b%e6%a5%ad%e3%80%8d%e5%85%ac%e5%8b%9f%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85-2-3>

◆「令和元年度中小企業等外国支援事業」第 1 回公募のご案内

やまなし産業支援機構では、特許・実用新案・意匠・商標・冒認対策商標を外国に出願する費用の 1/2 を助成する「中小企業外国出願支援事業」を実施します。

外国への特許出願の支援を希望される中小企業の方々のご応募をお待

ちしております。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/topics/588.html>

◆【NEDO】2019 年度「地熱発電技術研究開発」に係る第 2 回公募

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100259.html

◆令和元年度宇宙太陽光発電における無線送受信電技術高効率化等研究開発事業に係る委託先の公募

将来の新エネルギーシステムとして期待される宇宙太陽光発電システムに必要な発電と送電を一つのパネルで行う初送電一体型パネルを開発するとともに、重要な要素技術であるマイクロ波による無線送電技術について送電効率の改善等を実施し、当該技術等の確立によって、宇宙太陽光発電システムの実現並びにエネルギー源の多様化に資することを目的とします。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2019/k190517001.html>



■03 事務局からお知らせ

～会員会社様へ課題伺いの訪問をいたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員企業様の持っておられる技術課題を伺いに訪問いたします。訪問ご希望の会員企業様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

～新技術情報クラブ会費納入のお願い～

先日、年会費の請求書を送付いたしました。6 月末までに納入頂きます

ようお願いいたします。

これからも会員の皆様に有益な情報をご提供できるよう、努めていく所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■